

★ まちづくり ニュース

★ ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

212号

★ 2019年5月31日

★ 常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 「羽田空港の機能強化」地域の方を対象とする説明会」があります

[1]6月5日(水)19時から20時30分 [大谷口地域センター](#) 洋室A 定員:80名

[2]6月6日(木)19時から20時30分 [成増アクトホール](#) 定員:350名

[3]6月10日(月)19時から20時30分 [前野ホール](#) レクリエーションホール 定員:90名

[4]6月13日(木)19時から20時30分 [志村コミュニティホール](#) レクリエーションホール 定員:220名

※各会場とも先着順。直接会場へ(受付は18時30分から開始)。※内容は、国土交通省からの説明(30分)、質疑応答(60分)を予定。

「下記の地域に居住している方が優先して質問可能」として板橋区の各町名を列挙しているが、「板橋区にお住まいの方を対象に」というのだから制限するのはおかしい。また、「区外の方の参加、入場はできません」というのも、他区での情報を遮断するつもりなのかと勘ぐってしまう。

ともあれ、やっと実現した教室型説明会なので、まだ説明会に参加していない人は是非行ってください。

○ 見直し要請の陳情を提出

板橋区議会に提出していた守る会の陳情は、ずっと継続審議になっていた結果、先日の地方選挙で議会が改選となり、継続審議はご破算となったので、新しく5月27日に出し直しました。

○ 本屋さん復活

本屋さんができたそうだと、言うニュースが大げさに言えば駆け巡りました。小さなめだたない扉の雑居ビル2階でした。喫茶も兼ねているのですが入ってみるとお茶飲みながら静かに読書している人が数人、おしゃべりは遠慮されます。待望の知的空間、つぶれないで欲しいものです。

○ 政権与党の責任と批判精神

前号で名指して自民党と公明党を批判しましたが、それは両党が現在の政権与党であり、政治の殆どの責任を担っているからです。安心して任せられるなら良いのですが、現政権が数を頼んで強行採決してきた事実は批判されるべきもので、羽田の問題も危惧されます。

民主主義というものは、市民がしっかり常日頃から政治を批判していなければならないのですが、この「まちづくりニュース」はニュートラル(中立)でなければならないという声を聞きました。

しかし、その人は中立の名の下に現状維持、すなわち一方の側(すなわち体制側)を有利にしていることに気がついていないのです。あるいは気がつかないふりをして責任を回避し、せっかく上げられた他者(多くは弱者)の意見を抹殺しているのです。

常盤台住民は葬祭場建設反対運動やマンション問題で「中立」という胡散臭い言葉の内容を学んだはずです。

私たちの「まちづくりニュース」がミニコミ紙として民主的に継続するために、基本的に体制批判の立場を取るのには、当然担っていくべき宿命なのだと思います。強いて言えば是々非々主義なのですが、是の場合は特に取りあげることなく、非の場合を問題とするわけで、「何でも反対」派などとは違うのです。

不便になり納得できない

お年寄り相談センターの移動

一丁目にある「相談センター」はかつて葬祭場が秘密裏に作られそうになり、近所の人達の反対運動が起こったので、板橋区が買い上げ、集会場としてまた介護福祉のセンターとして使われてきました。

それが突然六月から「富士見町相談センター」という名称となり、上板橋駅前のセンターが「常盤台：」と名前を変え常盤台の人はそこまで行かねばならないのです。

なぜこんな不自然な変更が住民の知らない間に行われてしまうのか、数人で前野町の「おとしより健康福祉センター」を訪ねました。

「常盤台地域センター」は科学技術館裏にあり、上板橋駅の方が近いので常盤台住民には違和感があります。そこで「常盤台相談センター」を（無理に？）一致させるため、従来の「常盤台：」を移動させ、常盤台の中なのに「富士見町：」にする、六月からの実施変更は混乱を招くので出来ない、の一点張りです。この問題でもいったん決まったことは頑として変更する柔軟性がなく、異議申し立てや検討の余地の時間を設けない、などのお役所仕事を痛感しました。

① 従来通りの呼称とする ② 常盤台一・二丁目

目の人は従来通りの近くの管轄にするという近所の人の要望は取りあげられず、辛うじて常盤台の中なのに「富士見町」の施設であることの矛盾については、代替の建物を探す約束だけしてくれました。

駅の展示パネル下の植栽

月に一度、淑徳大学の学生たちが大学までの道をゴミ拾いしています。駅前の花壇についても協力願えるか聞いたところ、喜んで手伝ってくれるそうです。

ただ、「武蔵常盤小径」の下の部分は、東武鉄道がしてくれるそうなので、植えたあとの水やりなどのために待機してもらい、とりあえずロータリーの花壇の手入れをお願いしました。

時計台と噴水の所の花壇は、年四回花苗の植え替えがありますが、水やり、花ガラ摘みなどの手入れはほとんどなされません。先日雑草が抜かれましたが、珍しいことでした。ところが水場の水道の蛇口の取っ手が外されていて、水やりができませんのです。公園課に聞くと土木課の管理とのこと。土木課の答えでは余りに水の使用量が多かったとのこと。これから酷暑の夏だということの何に何を大事に考えるべきでしょうか。 Y

「キッチンときわ」NHKに登場

先日レトロな食堂として、NHKがドラマの撮影にきたそうです。高良健吾がでる「夢食堂の料理人」七月二三日（火）七時半に放送されるとか。秋田の洋食レストランの設定で、オムレツが十円の時代設定です。

「キッチンときわ」は東京新聞や毎日新聞にも載りましたが、記事の切り抜きぐらいお店に貼っておけば良いのに、あくまで宣伝に頼らずやっていきたい街のお店のようです。

常盤台公園のはなづくり

チューリップの地上部が枯れてきたのでTさんが不自由な姿勢で何日もかけて掘上げました。六月の花苗の植え付け準備ができました。

幾つかの球根は、駄目モトで来年年用にとっておきましたが、殆どは細かく分球してあり、咲いても縞模様ウィルス病の花になっているでしょう。だから毎年チューリップの球根は新しく買わねばならないのです。

今年のマーマレードはリピーターの方用に冷蔵庫にまだ三十個ほど保管してありますので、どうぞご注文ください。

公園のベンチ付近には、相変わらずタバコの吸い殻が散らかり放題です。愛煙家のマナーは悪く、携帯用吸い殻入れを使っている人はごく稀です。

また、公園で遊んでいる子ども達の受動喫煙が心配されます。お店や社内での喫煙が厳しくなるにつれ、公園で吸う人が増えてきたことは事実で、時には本当にあんなに広い公園の空気がタバコ臭いことがあります。

板橋区の幾つかの公園で犬などの動物を連れ込んで良いことになりました。しかし、常盤台公園は連れ込み禁止のままです。開放的な砂場や保育園児の園庭代わりになっているので、衛生面から許可されないのでしょう。